

【開催予告】第7回自死予防研修会

<テーマ>

ゲートキーパー研修のつくり方

<企画主旨>

自死予防は今取り組まなくてはならない社会的課題であり、臨床心理士のすべての活動において高い感度が求められる課題です。

自殺対策における心理支援は、個別面接でのリスクアセスメントや自殺念慮への対応のみならず、予防的観点に立った市民や対人援助職等への教育的・啓発的な支援が重要です。今回の研修会では、自治体等から自殺予防のゲートキーパー（GK）研修を依頼される臨床心理士が多いという現状をうけて、「自治体等における自殺予防のための GK 研修のつくり方」をテーマとしました。

今回の GK 研修は、基礎から評価までを1日で学べるコースです。すでに実践している方から、これから実施しようとしている方まで、自死予防の必要性を感じている多くの臨床心理士に習得していただきたい内容となっています。みなさまのご参加をお待ちしています。

第4期前期自死予防専門委員長 徳丸 享

		【プログラム】					
午前の部	テーマ	ゲートキーパー研修入門					
10:00～12:00	講師	喜多見 学 委員					
	所属	立正大学					
	内容	関東圏の複数の自治体や教育委員会にて、多くのゲートキーパー研修を実施してきた喜多見委員より、GK研修講師の入門として歴史と目的、一般的なスケジュールと実践例を紹介していただく。その上で、ブレイクアウトルームを用いたグループワークとして、各分野において参加者それぞれが実践を通じて得たゲートキーパーの知見を話し合い、それぞれの現場に合わせて、GKとして具体的に何をしているのか(すべきか)、どんな工夫をしているのか、を共有する。					
12:00～13:00	(昼休み)						
午後の部	テーマ	自治体等における自殺予防ゲートキーパー研修のつくり方					
13:00～16:00	講師	小高 真美					
	所属	武蔵野大学人間科学部					
	内容	わが国における標準的なGK研修の開発に携わる小高真美先生(武蔵野大学人間科学部 准教授)を招聘し、模擬GK研修を実演しブレイクアウトルームを利用したロールプレイを行う。その後、GK研修内容の解説として、エキスパートコンセンサスを得た“GKに最低限必要な知識とスキル”や“評価指標”についての講演を行う。また、今後のGK研修に必要とされる内容についてブレイクアウトルームによるグループディスカッションを行い、最後に研修全体を通して気づいた点等について意見交換する。					
	司会	高井美智子 委員					

参加募集開始までしばらくお待ちください。